

## 「2014年慶應連合三田会大会」の開催



慶應連合三田会会長  
比企 能樹

皆さん、ようこそ日吉の丘へ。

「出会いこそ」をテーマとする2014年慶應連合三田会大会が今日この日吉の丘で開催されます。

福澤先生は、慶應義塾同窓生社中の集りをきわめて大切にされ、東京をはじめ各地で開かれるさまざまな同窓会には進んで出席し、また大勢の塾員を集めて大園遊会を開くなど、社中の交流を奨励しておられました。

かねてより三田会は、仲間同士の出会いの場、先輩・後輩との出会いの場であり、今回のテーマ「出会いこそ」は、改めて出会いを大切にし、再会の場として絆を深めるとともに、新しい友人との出会いから新たな絆が生まれ深まることを期待しているものと考えます。

今日10月19日は、社中あげての年に一度のお祭りです。この丘には、塾員ばかりではなく、慶應義塾にご縁のある皆様、塾員塾生のご家族やお友だちなど、慶應義塾社中に関わる方々も大勢お集まりのことと思います。

落合実行委員長、飯田実行本部長のもとお当番の方々が忙しい中一年以上かけて入念に心を込めて準備した様々な企画をお楽しみください。もちろん皆様にご満足いただけるような記念品や福引を数多くご用意いたしました。

ご来場の皆様、今日一日時を忘れて楽しく「出会いこそ」を体験されますよう心から願っております。

また、ご協力いただきました塾関係者、協賛企業の皆様、各三田会、地域の皆様に厚く御礼申し上げます。

## 「2014年慶應連合三田会大会に寄せて」



慶應義塾長  
慶應連合三田会名誉会長  
清家 篤

本日ここに2014年慶應連合三田会大会が賑やかに開催され皆様にお目にかかれますこと有り難く思います。大会の開催に向けて、長期にわたり周到な準備にあたってこられた落合正行実行委員長をはじめとする大会実行委員各位のご尽力に敬意を表し、慶應義塾を代表して心から御礼申し上げます。また多大なるご支援をいただいております協力企業、慶應連合三田会の皆様、関係の皆様にも深く感謝致します。

学校の価値を決めるもっとも大切な存在は卒業生です。一つには卒業生お一人おひとりが職場において、あるいは家庭において、さらには地域社会において、そして国際社会において、日本や世界をよくするためにどれだけ貢献してくださっているかということです。そしてもう一つは、卒業生の方々がどれだけ学校を愛してくださっているかということです。とくに卒業して時間を経ても母校を愛し続けているかということが重要で、この本日の大会が卒業40年、30年、20年、10年の塾員が協力して実現されていることは、その証に他なりません。

そして良い学校とは、そこで良い教育が提供されるということはもちろんですが、それだけでなく、そこに行くとき良い友人、先輩、後輩とめぐりあえる学校でなければなりません。三田会の活動は、まさにそうした同級生、先輩後輩の結びつきから生まれるものであります。この度大会スローガンに掲げられた「出会いこそ」に象徴されているとおり「出会い」を大切にすることが、特に慶應義塾にとって大切な意味を持っているということ、改めてお伝えしたいと思います。

ご来場の皆様ようこそ日吉におでましくございました。どうぞ今日一日を楽しく和やかに日吉の丘でお過ごしください。ご来場くださった塾員、塾生、地域の方々、教職員、そして義塾にゆかりのあるすべての方々が、今日ここで賑々しく繰り広げられる大会のさまざまなイベントをおおいに楽しめますことを願っています。

## 「出会いこそ」



2014年慶應連合三田会大会  
実行委員長  
落合 正行

2014年慶應連合三田会大会が予定通り本日開催の運びとなりましたことは誠に喜ばしく、またご参加下さったすべての皆様を心から歓迎いたしたいと存じます。

三田会の魅力として、学生時代の仲間をはじめ、塾員となってからも先輩・後輩・友人との新たな出会いが数多く生まれ、そしてじきに胸襟を開いた交流が始まり強い絆となっていく。先輩方が大切に受け継いでこられた伝統の「社中一致」協力の精神こそ、この「三田会」の原点とも言える最大の魅力ではないでしょうか。この想いをこめて今年の大会スローガンは「出会いこそ」といたしました。すべては出会いから始まり、出会いをきっかけに人と人がつながり広がってゆく。本日は数多くの出会いと再会によって三田会の輪が大きく広がり、皆様方それぞれに絆を深めていただくことが出来たら大変嬉しく存じます。

今大会では卒業50周年を迎えられた1964年卒の先輩方をお招きしておりますが、これまで頂戴したご指導・ご交誼に感謝し、心よりお祝いを申し上げます。

また、本大会開催にあたりご協賛・ご支援をいただきました協賛企業、塾員の皆様、ご協力いただきました塾関係者、連合三田会、各三田会、地元日吉の皆様へ厚く感謝申し上げます。

そして最後になりますが、「出会いこそ」のスローガンの下、力を合わせて共に準備をしてきた実行委員の皆様へ心からお礼を申し上げます。

## 2014年慶應連合三田会大会開催にあたり



2014年慶應連合三田会大会  
実行本部長  
飯田 浩一

本日2014年慶應連合三田会大会にご参加の皆様を、心から歓迎いたします。今年の大会スローガンである「出会いこそ」の通り、数多くの出会いが日吉の丘で広がりますことを願っております。

今年の大会準備にあたっては、例年同様に数多くの会議を重ね、実行委員同士様々な意見を交換して参りました。その中で形作られたのが「3つの大会コンセプト」です。

まず1つ目は「新しいことに挑戦しよう」です。伝統ある大会をしっかりと受け継ぐ一方、これからの「デジタル世代」が気軽に参加できるように、電子チケットの導入や、大会公式ウェブサイトの活用を試みました。2つ目は「来場者に優しく」ということです。皆様が大会を楽しんでいただけるよう、会場内の動線にストレスフリー化の工夫をし、初めて来場された方にもわかりやすく楽しめるようにご案内体制を整えました。そして3つ目は「笑っていこう」です。この大会運営の原点は、仲間とのボランティア活動です。ですから準備段階から今日の本番まで、委員の間ではいつも笑顔が溢れるようでありたい、という思いを皆で共有してきました。

昭和38年に始まった現在の形式の連合三田会大会は、半世紀にわたり先輩から後輩へのパトタッチを繰り返して今日に至っています。本年度大会は、この伝統を守りながら、未来を見据えた祭典を目指して企画いたしました。ご来場の皆様楽しんでいただけますことを心より願い、ご協力いただいた協賛企業様、塾関係者、塾員、地域の皆様、連合三田会事務局の皆様へ厚く御礼申し上げます。



## 出 会 い こ そ

連合三田会大会のよさは、友人知人との再会の場のみならず、

そこには新しい出会いがあるということです。

そして、再会というものも、実は、時を経て再び出会うという出会いのひとつであると言えます。

さらに、私たち自身のことに翻って考えてみれば、

授業、クラス、クラブ活動、同好会活動と、そのすべてに「出会い」があり、

それが何にも代え難い私たちの大きな資産になっているのではないのでしょうか。

同期、先輩、後輩、そして先生という人との出会い。

そして、学問、スポーツ、文化、という人ではない何かとの出会い。

あらゆる素敵な出会いがあったからこそ、輝く思い出となる日々が生まれ、

その後の人生を歩んで行く大きな力を育むことができたのだと思います。

そしていま、連合三田会大会に来て、また新しい感動や発見、喜びと出会って欲しい。

あなたにとって、一年でいちばん出会いのある日になって欲しい。

そんな願いを込めて、「出会いこそ」という言葉を2014年の大会スローガンとしました。

さらに、その出会いをきっかけに、人と人がつながり広がってゆく様を表現し、

デザインしたのがこのロゴマークです。

私たち、2014年慶應連合三田会大会の実行委員全員が、

このスローガンのもと、一致団結して大会を盛り上げていきますので

どうぞ心ゆくまでお楽しみください。